図書館通信

多読者プレゼントキャンペーンも開催中です。
ぜひ、図書館に来て下さいね！！

今月は、図書委員さんの「おすすめ本」の紹介　No．2です。
皆さんも読んでみて下さいね！

探偵ガリレオ　東野圭吾

私達がまだ小学生ぐらいの頃にTVで見た事がある人もいるであろうガリレオシリーズの第1作目。5つの短編で構成された作品。警視庁捜査一課の『草薙』が数々の難事件のトリックを解明する為に友人である物理学准教授『湯川学』に助けを求める･･･という物語。本格的ミステリーであるものの、登場人物の繰り広げる展開によりミステリー特有の硬さを感じさせず、五話構成の為、文字を読むのが苦手な人でも楽しめるだろう。未だに続く人気タイトルの第一弾、ぜひ手に取ってほしい。

名探偵の掟　東野圭吾

推理小説や推理もののドラマや映画の好きな人に紹介したい一冊です。あらすじとしては名探偵･天下一大五郎と名(迷)脇役の大河原警部がミステリー小説の舞台裏をユーモアたっぷりに明かしながら12の難事件に挑む！というものです。が、その二人の登場人物が物語に飛び出して、ミステリーものの「お約束事」に切り込んでいく様が愉快で面白いです！短編集かつアッサテンポなので本を読むのが苦手な人でも読みやすいと思います

ホビットの冒険　J. R. Rトールキン

この話は平穏を好むホビットのビルボが、祖父の知り合いである魔法使いガンダルフによって平穏とはほど遠い危険な冒険へと連れ出されるところから始まります。最初は弱音を吐いてばかりで、仲間の足を引っ張るばかりだったビルボが旅の中で少しずつ成長していく様は、特に注目すべきポイントです！様々な種族の民に助けられ、時には敵対しながらも進む一行の冒険譚は、読み手をとてもわくわくさせるでしょう。

走れメロス　太宰治

メロスの友情物語に感動しました。メロスとセリヌンティウスの友情がよかった。

美少年探偵団　西尾維新

特殊な目を持った少女、瞳島眉美が出会ったのは5人の癖の強い美少年。学校中の注目を集める彼らは探偵であった。それぞれが独自の美を追究する少年達に少女が依頼したのは10年前に見た星を見つけること。図鑑にも載っていない、誰も見たことのない彼女だけに輝いた暗黒星を探せる時間は残りわずかになってしまう。ひとりひとりの個性が強すぎて殴り合っているように感じるのにそれが絶妙なバランスで描かれているので、一度読み始めたら止められません。きっと好みのキャラに出会えるはずです！！

夜廻　保坂歩

2017年と少し前のものです。
この本は、夜道探索アクションゲーム『夜廻』の公式ノベライズで、幼い妹と姉の二人の視点を交互に書かれており珍しい本です。ホラーの部類に入るので、夏に読むのであればお薦めの本です。小さい頃に考えたりした真夜中の世界には時々妙なものがいるというのがよく伝わると思います。一晩の出来事なのに読んでいるうちに色々なことを考えてしまう。そんな魅力の本です。

蜘蛛男　江戸川乱歩

割とありふれた展開だけど、それをしっかり面白く書かれているので楽しめます。展開はありふれていてもやっぱり書いているのは乱歩なので、多々乱歩らしい所が見られるので好きな人はすごく好きな一冊だと思います。他シリーズの主人公など出てこないだろうと思っていた人物が終盤になって活躍したり、後半の胸熱展開が他の乱歩作品にもない雰囲気を醸し出しているので、乱歩が好きな人もそうでない人にもお薦めしたい一冊です。